



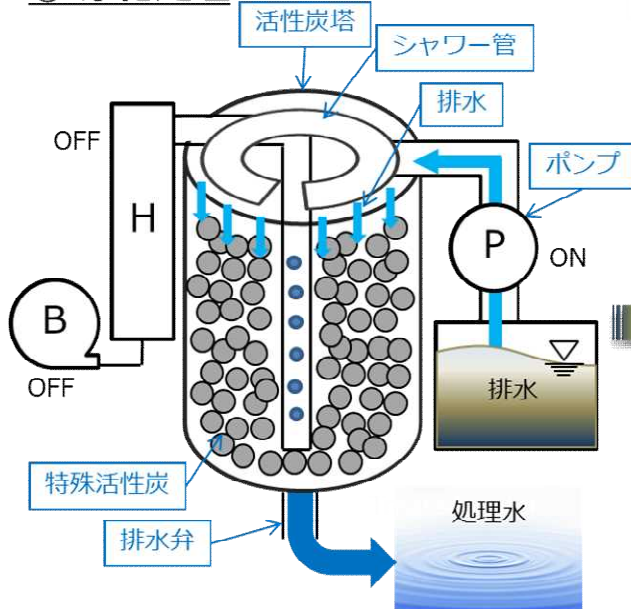
自動再生式活性炭排水処理技術

- Jトップ株式会社 -

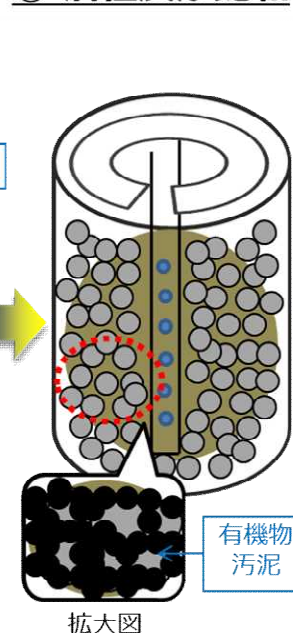
排水を捨てられる水から使える水へ



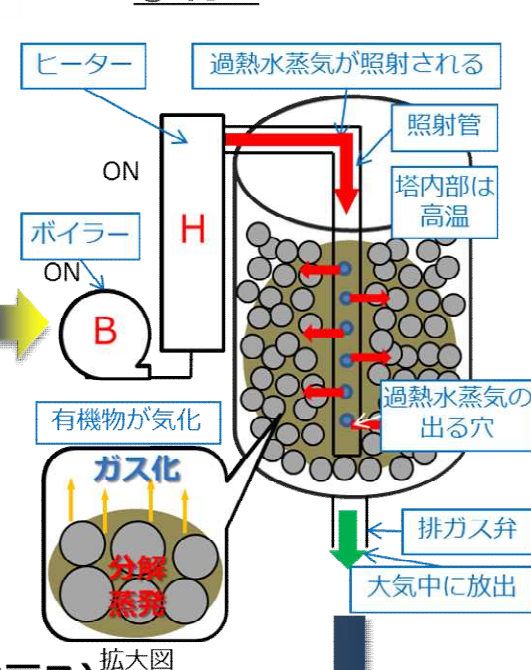
① 浄化処理



② 活性炭が飽和



③ 再生



④ 再び排水を浄化 (①に戻る)

特徴

- 活性炭を装置に入れたまま自動再生するので、活性炭の入替え・交換作業が不要です。
- 活性炭は繰り返し使用できるため、ランニングコストを大幅に縮小できます。
- 高度処理であるため、排水は再利用できるレベルまで浄化処理が可能です。

概要 (技術原理、動作等)

Jトップの排水処理技術は、排水中の汚濁物質を活性炭に吸着させることで水を浄化し、過熱水蒸気を利用して吸着した汚濁物質を気化・脱着し、活性炭を装置から取り出さずオンサイトで再生する画期的な「活性炭リサイクル技術」です。本技術は、「低コスト」「省スペース(従来の1/10以下)」「設置が容易」「スラッジ(汚泥)削減」「高度処理・再生水製造」「着色排水・難分解性物質処理」「臭気除去」といった特性を持っています。

Jトップ株式会社

〒594-0042
大阪府和泉市箕形町4-5-44

URL; <http://www.jtops.com>

E-mail info@jtops.com

TEL:0725-51-3860 FAX:0725-51-3861



技術・製品の性能・スペック

基本サイズ以外にも、お客様のご要望に応じたサイズをご用意いたします。
排水処理量は、排水性状（原水濃度等）で大きく異なるため詳細は弊社までご連絡下さい。

モデル	活性炭塔サイズ	活性炭量	ヒーター	ボイラー換算蒸発量
小型	Φ 300mm × 1,600mm	110L	6kW	30kg/h
中型	Φ 600mm × 1,700mm	330L	25kW	100kg/h
大型	Φ 900mm × 1,700mm	1,000L	25kW × 2	200kg/h

適用例・実績

- 日本全国の工場（ゴム、製薬、半導体、印刷等）、温浴施設、山上トイレに導入されています。
- 平成26年度 JICA民間提案型普及・実証事業にてインドネシアでの普及が始まっています。また、平成27年には香港での販売が決定しています。



立山連峰雄山山頂トイレ

